

## “あの方”<sup>かた</sup>

これまでに私は“あの方”に何回お目にかかっただろう。気が付くと試合中のベンチの私の横に座って、にっこり微笑んでおられる。そして一言「大丈夫。信じなさい」とおっしゃるのだ。いつもいつも来ていただけるというわけではないし、どうか来てくださいなどとお願ひしたって、それは叶<sup>かな</sup>うものでもない。どちらかと言えば気紛れな“あの方”は、何年かに一度、そして私が“あの方”のことをすっかり忘れてしまっていたようなときに、ふと何の前触れもなく訪れて私の横に座り、そしてにっこり微笑んで「大丈夫。信じなさい」とおっしゃるのだ。

テニスの試合中には、私たち人間の浅はかな常識では説明のつかない不思議な力が働くことがある。人知を超えた何かの強い意志が試合の行方を左右しているとしか考えられないようなことを、長年ベンチに座って試合を見つめてきた私たちはしばしば目にし、身をもって体験しているけれど、あれこそ“あの方”の仕業<sup>しわざ</sup>に他ならないのだ。もしかしたら神様なのかもしれないけれど、神と呼ぶには、“あの方”はあまりに人間的であり、好き嫌いが激しい。いずれにせよ、“あの方”の存在を否定することなど、私にはとてもできないのだ。

昔は気が付かなかったけれど、“あの方”が訪れるのは私一人に限ったことではないようだ。毎年の大会で、頑張っている他校の生徒が試合をするコートにも、“あの方”は時々やって来て、選手に向か<sup>うなづ</sup>って頷いたりしている。きっと「大丈夫。信じなさい」などとおっしゃっているに違いない。

「気紛れな」などと失礼なことを書いてしまったけれど、“あの方”が来られるには、それなりの条件も必要なようだ。それはチーム全員が誠実にひたむきに頑張ってきたとき、そして、そういう誠実な努力は必ず報われるのだということを本気で信じているときに限られるということなのだ。

お前たちにも“あの方”は微笑んでくださるだろうか？いやいや、2年生2人と1年生9人のヒヨ子チームのことなど、“あの方”は気にも留めておられないかもしれない。ただ、「誠実さ」「ひたむきさ」という点で、“あの方”はお前たちのことを高く気に入ってくださるに違いない。でも「ボールへの執着」とか「勝利に向かう食欲さ」といった“あの方”の大好きな要素についてはどうだろうか。そして何よりも、自分を信じているだろうか。自分たちの誠実な努力が必ず報われるのだということを本気で信じているだろうか。そうでなければ、仮に“あの方”が「大丈夫。信じなさい」と言ってくれたところで、お前たちはその言葉の本当の意味を理解することさえできないに違いないのだ。

もっと執着しなさい。食欲になりなさい。そして本気で自分を信じなさい。そうすれば、この大会で、もしかしたら“あの方”は、お前たちにウインクぐらいはしてくださるかもしれないから。